F1 ゼミ　V-3 クラス　　担当：真島豊

ディベートテーマ「理工系大学生は大学院に進学すべきか就職すべきか？」

全体の概況（東工大の場合）

・卒業・修了年月（標準）
　学部　４年
　修士　２年
　博士　３年
・東工大の学部生が大学院に進学する割合：９０％
・大学で研究が主となる期間：
　学部卒業研究（４年次、１年間）
　修士論文卒業（２年間）　修士卒の場合、計３年間
　博士論文研究（３年間）　博士卒の場合、計６年間
・欧米の大学、大学院における研究機関
　学部：講義受講のみ
　修士：講義受講のみの場合もあり
　修士-博士一貫で修士の学位を取らない場合も多い。
　　この場合も修士に相当する年次では講義が主。
・就職活動がはじまるおおよその開始時期
　学部卒　３年次秋～冬
　修士卒　１年次秋～冬
　博士卒　２年次冬
・平成２２年春採用の就職に関する状況は、昨年とは一変。
・大学、大学院で何を学び、どのような人材に成長するか。

感想

・「企業の東工大卒業生への期待」、「研究職」、「文系就職」、「生涯賃金」、「研究は勉強になる」など、さまざまなキーワードが出てきて、双方共とてもよく考えていることが伝わる、良いディベートでした。
・ディベートでもお伝えしたように、これからはこれまで以上に多様な社会となります。皆さんがやりたいと思うことを深め、すばらしい人材へと成長し、皆さんが２１世紀を担っていって頂くきっかけとなれば幸いです。